

■第1回農業水利施設ストックマネジメント施設管理研修会開催！■

平成27年8月21日に宮城県主催の第1回農業水利施設ストックマネジメント研修会を大崎地域水管理協議会及び敷玉揚水機場にて開催しました。

今回の研修は、5つに分けた班ごとに、目視等による機能診断、それに基づく健全度判定を行い最後に判定結果に関する発表を行いました。現地研修では、『機能保全の手引き』に掲載されている判定基準を参考にしつつ、ポンプ設備、ゲート設備、除塵機等の施設に関して機能診断を行いました。滅多に施設の診断に携わらない参加者の方も、手引きを何度もチェックし、各班の班長にアドバイスを貰いながらグループワークを行い、有意義な研修会となりました。

お知らせ

今年度は全3回の研修を通して参加することで、自ら機能保全計画の策定が出来るようになることを目標としています。

第1回は稼働時の施設点検・保全計画書作成演習を行いました。第2回では非稼働時の施設点検と演習、更に電気設備の講習も行いますので、ぜひ参加してください。第2回の研修会は、引き続き敷玉揚水機場にて11月上旬に開催する予定です。



↑機能診断に関する事前説明



↑ポンプの機能診断中



↑グループワーク

■大河原地方振興事務所主催の保全計画書作成研修会及び現地研修開催！■

平成27年8月31日～9月1日に宮城県大河原地方振興事務所主催の研修会が開催されました。本年度は、柴田土地改良区管理の用水路を対象に3回予定されており、第1回は大河原管内の市町・土地改良区等の職員約20名が参加し、グループに分かれて、通水中の農業用水路（新槻木用水路）をコンクリートハンマー等により機能診断・評価を行ない、土地改良区に於いてグループ発表を行いました。

専門講師から『機能保全の手引き「開水路」』に関する判りやすい説明が行われ内容を理解する貴重な機会となりました。

次回開催は、11月下旬の予定です。



↑圧縮強度試験／目視調査↓



■黒沢尻用水路土地改良区からの情報提供 ～維持管理のすゝめ～

大河原町にある黒沢尻用水路土地改良区は、受益面積が667ha、管理施設は頭首工2施設、揚水機場11施設、排水機場2施設という小規模土地改良区の割には管理施設が多いのが特徴で職員数も3名と少なく、水利施設の維持管理には数々の工夫が必要な状況です。

今回のストマネ通信では、この黒沢尻土地改良区の取組を紹介します。揚水機場11施設は全て水中ポンプで、過去にはポンプの浸水事故により用水が停止する事態も発生していましたが、10年程前から毎年全ての施設で用水開始前に業者による一斉点検を実施しています。

点検内容は水中ポンプの羽根車やオイルの状況、電気設備の絶縁状態や保護回路、タイマーの作動状況を確認しており、毎年の傾向を把握して適切な時期に適正化事業等の補助事業に加入して整備を実施しています。また、堰上げ用のゴム堰も5施設あり定期的に専門業者による点検作業を実施しています。

更に、黒沢尻土地改良区は県内で初めて-地域ストマネ-【基幹水利施設管理事業（地域水利施設保全型）】に取り組んだ土地改良区でもあり、大規模な排水機場や頭首工、水路や水門等を一括して【機能保全計画書】を作成しています。事業は既に平成26年～平成29年の実施期間で採択されており、毎年工事が実施されています。

このように黒沢尻土地改良区の維持管理意識は高く、担当の女性職員が積極的に研修会に参加し、事業に取り組む姿は他の小規模な土地改良区の参考になるのではないのでしょうか。



↑千塚揚水機場



↑沼辺排水機場



↑猫田第2頭首工

■ストマネ☆一口メモ

宮城県土地改良事業団体連合会では、施設の機能診断に役立つ様々な測定器具を貸出しています。昨年度の第1回ストマネ研修会を受講された方はご存じかと思いますが、紹介します。



騒音計	ポンプ稼働時等の音を計測
振動計	ポンプ稼働時等の振動を計測
非接触式温度計	ポンプ設備の表面温度を計測
超音波厚さ計	ポンプ設備等の塗膜厚を計測
CCDカメラ	ポンプ内部等をカメラにて撮影
コンクリートハンマー強度測定計	ハンマーの反発によりコンクリート強度を推定

問い合わせは下記、土地改良事業団体連合会 農村整備第5班まで

○問い合わせ先 宮城県農林水産部農村整備課 水利施設保全班

TEL 022-211-2876

HP <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonsei/sutok1-1.html>

宮城県土地改良事業団体連合会 技術部 農村整備五班

TEL 022-263-5816